



【幼児クラスの連絡帳について】



子どもの様子を保護者の方と共有するために乳児クラスから大切に扱ってきた連絡帳ですが、幼児くみさんでは、『伝える力』『ことばの力』がついてくる時期です。自らの言葉で楽しかったこと悲しかったことをお家の方や保育者に伝えていくことが出来るよう子ども達から園での様子を聞く機会を増やして頂けたらと思っています。『伝える力』は、これから成長していく中でとても大切になっていくと思います。

親子だけでなく、保護者と保育者ともにコミュニケーションは対面が一番です。玄関横のモニターをヒントに子どもたちから園での様子を聞いてみてください。私たち職員も保護者の方たちと直接お話しさせて頂くことで共に子育てしている気持ちを大切にしていきたいと思えます。今後も連絡帳は今まで同様お使いいただきたく思います。園からの様子は担任の印鑑またはサインのみの日も出てくるかと思いますが、しっかり目は通させていただきます。

『自分の考えを話す力』を育てていきたいと思えますので保護者の皆様にもご協力頂きたいと思っています。ご理解ください。

ねこ組・・・必要な言葉で経験したことなどを自分なりに言葉で伝える。

とら組・・・会話を楽しみながら相手に伝わるよう工夫して話す。

らいおん組・・・小学校に向けて言葉を豊かにし、言葉で説明する力をつけていく。

こんな時！なんて子どもに言ってあげていますか？

さて！！あなたは、どっち？



まずは！
「嫌だった」という
子どもの気持ちを
受け止めてあげましょう。



どこで！誰が！
というように
同じ詰めるような
声掛けはやめましょう。
黙り込んで何も話して
くれなくなります。



伝える力が育ってきた
とはいえ！
まだまだ未熟です。
お母さんが解決するのはなく
子どもに考えさせるような
問いかけをして
あげるといいですね。

